

2023 出前講座 茨城代協の取組み

【今年度の流れ】

2023 年

■7月 理事会で出前講座の意義と概要を説明し、取組み開始を報告

今後の流れと各支部長への協力依頼

※CSR 委員会だけでなく、学校の地域に応じて支部で対応(打ち合わせ、講師役、サポート)していただくことを依頼しておく。支部事業として、日当・交通費も支給。

■8月 県内県立高校のリストアップ、学校長宛に郵送で文書発送(約 50 校、事務局が担当)

<送付物> 学年主任宛案内文、プレゼン資料、出前講座依頼書

■8月下旬から11月にかけて、学校から依頼書が FAX 返信あり

・依頼書は、事務局から CSR 委員長と担当エリアの支部長に共有

・支部で講師役等を決めて、すみやかに学校に連絡し打ち合わせに訪問

<持参物> 投影用パワポ資料、レジユメ(資料①)、アンケート(資料②)

<打ち合わせ内容> ご挨拶、授業日時の確定、駐車場の確認、会場設備の確認(PC、スクリーン、wifi 等)、先生からのご要望、レジユメ・アンケートの印刷依頼

■10月～翌年2月にかけて出前講座実施

・講師役+サポート役(操作補助、写真撮影、トラブル対応)で最低2名要

・CSR 委員長は、進捗を随時LINE(理事グループ)で報告、支部長への依頼を行う

・開催後気付いた点、改善点を LINE でフィードバックもらう

・CSR 委員会で改善作業を実施、改善し次回開催に繋げる

・講師役、サポート役に日当 2,000 円+交通費を支給

【講師役の養成】

・講師役を予定しているメンバーで集まり、アドバイスや情報共有を実施。

・本来であればしっかりと集合研修を行い、ロープレ等を実施し講師のスキルアップを図るのが望ましい。今後の課題。

【CSR委員長所感】

取組み初年度としては、10 校開催は上出来。3校程度の反応を想定していたが、こちらが思

う以上に学年主任は切実な問題だと感じているのだと思う。

「交通安全の授業は警察や損保協会もやってくれるが、実際に事故があったときの対応や、自動車保険について実際の例に基づいたお話は、本当にありがたい。数字ばかりだと生徒も飽きてしまうので、動画や手記があるのも良い。」といったお褒めの言葉をいただいている。

学校からの依頼は今後も増えていくと思われる。

対外的に代協の認知度も上がり、存在意義を高める事業なので、ぜひ継続すべきである。

また、取組み初期から「支部事業」にしたこともよかったと思う。リーダーシップをとり、進捗報告や依頼事項は CSR 委員会が担い、学校との打ち合わせや講師役を支部メンバー、と役割分担をしたことで、コロナで消極的になってしまった支部活動の活性化にも繋がり、メンバー間の負担感・不公平感も少なくできた。結果として県代協全体の活性化に繋がった。

講師役の育成は今後の課題。ブロック、または日本 CSR の支援があると出前講座の普及が促進されると思う。

【添付資料】

資料①レジュメ(生徒メモ用)、資料②アンケート

※その他の資料は、富山代協さんの様式を修正したものを使用

以上